

ICTを活用した教育・支援事業 実施報告(2021年3月)

【支援者向け】オンライン教材・会議システムを活用した日本語学習支援～つながり続けるための工夫
【学習者向け】インターネットの日本語学習サイトを使ってみよう
を実施しました。

【支援者向け】オンライン教材・会議システムを活用した日本語学習支援～つながり続けるための工夫

目 標: 地域の日本語教室で活動する支援者が、ICT を活用した学習教材や学習法についての情報収集を通して、
各自の地域での活動に役立てられるようになる。

ICTを活用した教育・支援事業として実施する「学習者向け講座」にサポーターとして参加を促し、支援の幅
をさらに広げてもらう。

日 時: 2020年11月11日、18日(水)全2回

Aコース(午前) 10時～12時

Bコース(夜) 19時～21時 (AB 同一内容)

場 所: オンライン

対 象: 地域日本語教室で支援を行っている人

講 師: 矢崎理恵氏(社会福祉法人さぽうと21)

参加者: Aコース第1回 36名 第2回 33名

Bコース第1回 40名 第2回 38名 延べ147名

日本語支援者向けオンライン講座 (横浜市委託事業)

オンライン教材・会議システムを
活用した日本語学習支援
～つながり続けるための工夫

オンラインを使うその一歩先のチャレンジや対面の教室でも使えるオン
ライン教材を体験し、これからの活動のヒントにしませんか。すでにオン
ライン授業を経験した方にも役に立ちます。

第1回は、今注目のICTについて学び、ICTを使った実践例をご紹介
します。第2回は、WEB上にあるサイトを活用した教室を体験し、その
他の素材にも触れてみます。

本講座は2回連続の講座です。
Aコースは日コース、どちらか一方を選んでお申し込み
ください。(どちらでも構わない方は、「どちらでもよい」
にチェックしてください) オンラインZoomを使用します。

第1回 2020年11月11日(水)
「ICTって? オンライン教材や各教室での
実践の工夫」

第2回 2020年11月18日(水)
「日本語学習サイトを活用した日本語学習
支援を実践してみよう」
文化庁「つながるひろがるにほんごの
くらし」を例に

対 象: 横浜市内の地域日本語教室で
支援を行っている方

人 数: 各回先着20名程度

参加費: 無 料

10/21～受付開始
お申し込みは
<https://ws.formzu.net/dist/S88350344/>

講 師: 矢崎 理恵氏(社会福祉法人さぽうと21)

どちらのコース
も同じ内容です。

	第1回	第2回
Aコース (午前10:00～ 12:00)	11/11(水)	11/18(水)
Bコース (夜7:00～ 9:00)	11/11(水)	11/18(水)

矢崎氏のプロフィール
青年海外協力隊参加、帰国して20年ほど、進
学を目指す学生たちのための日本語教育に携
わる。現在はさぽうと21で「日本語学習の場」
づくりを行っている。

QRコード

お申し込みの
お申し込みは
お申し込みは

第1回「ICTって? オンライン教材や各教室での実践の工夫」

講座冒頭でまず、コロナ禍における2020年4月からのさぽうと21での取り組みや現在の状況について講
師から紹介がありました。さぽうと21では東日本大震災での教訓を生かして、在住外国人の「安心」の場であ
り続けることを大切にしながら、オンラインでの新たな日本語・学習支援も開始したそうです。そのオンライン教室
での実践例紹介や、オンラインで学習することの学習者にとってのメリット、デメリットなどの共有がありました。

さらに、この回では横浜市内でオンラインで支援を行っている教室の一例として「トピックスかいわ教室」から活
動事例が紹介され、現場での工夫を聞くことができました。

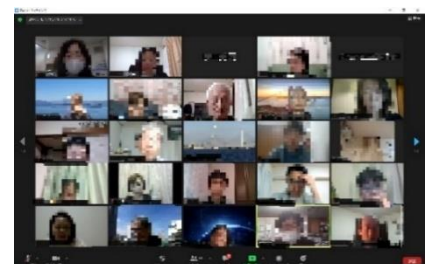
後半は学習者が独習可能なオンライン教材、支援者が支援で利用しやすい素材など、実際の使い方を交えて
の話があり、オンライン教材について詳しく知る機会となりました。

たくさん学習サイト
があってびっくり!

(アンケートから抜粋)

実践例が参考になった。

様々なツールがあって、使い方
が難しそう...

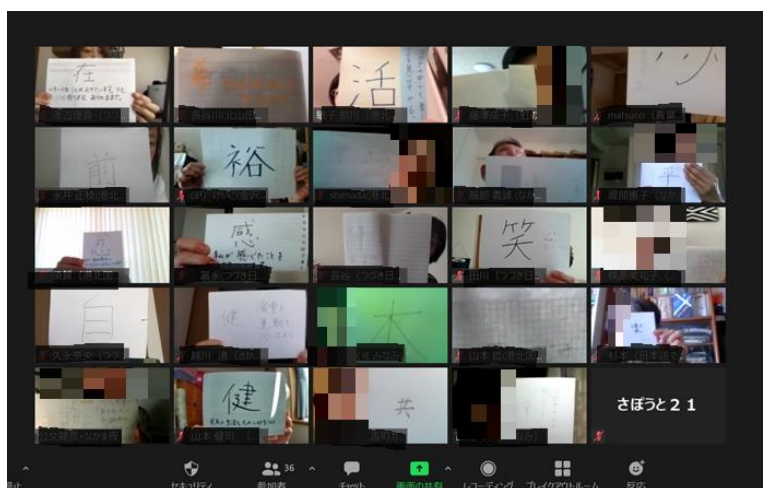


第2回「日本語学習サイトを活用した日本語学習支援を実践してみよう」

文化庁「つながるひろがるにほんごでの暮らし」を例に

第2回は「オンラインでもできる」「オンラインだからできる」活動として、さぼうと21で行った“一文字書道”を体験しました。「コロナ禍にあって、どんな自分でいたいですか？どんな感じで過ごしていきたいですか？」をテーマに、今の気持ちを表す漢字一字を参加者それぞれが選び、オンライン Zoom の機能であるブレイクアウトルームを使って「なぜその漢字を選んだのか」をグループに分かれて意見交換しました。

さらに、オンラインで公開されている様々な教材の中から、文化庁「つながるひろがるにほんごでの暮らし」（「つなひろ」）を取り上げ、その構成や使い方を詳しく学びました。



一文字書道の様子

グループワークが楽しかった。

漢字一文字で話し合う
というのが、とても面白かった。

漢字を覚えた学習者と
やってみたいと思った。



オンラインシステムを駆使すれば
こんな教室もできるのか、と驚いた。

ネットにある教材をつかったの学習
方法はとても参考になった。

(アンケートから抜粋)

出典:文化庁「つながるひろがるにほんごでの暮らし」
レベル2 シーン1 お店のサービスを利用してみよう

【学習者向け】インターネットの日本語学習サイトを使ってみよう

目 標: ICT を活用した学習教材や学習法についての情報提供と、オンライン学習教材を活用した日本語学習経験への参加を通して、学習者が WEB サイトにある教材を使って学習する契機となる。また、オンラインによる日本語教室など、幅広い学習の選択肢を提供し、自律学習へとつながる機会とする。

日 時: 2020 年 12 月 2 日、9 日 (水) 全 2 回

A コース (午前) 10 時~12 時

B コース (夜) 19 時~21 時 (AB 同一内容)

場 所: オンライン

対 象: 横浜市在住・在勤・在学者優先、
日本語を学びたい人 (概ね 16 歳以上)
日本語で簡単な会話ができる人
ひらがな、カタカナが読める、書ける人
*Zoom が使える環境を自分で用意できる人

参加者: A コース インド 1 名 中国 1 名 ベトナム 2 名
B コース ベトナム 2 名 延べ 7 名

講 師: 矢崎理恵氏 (社会福祉法人さばうと21)

サポーター: 地域の日本語支援者 6 名 (A コース 3 名、B コース 3 名)

情報提供: NHK 国際放送局 (NHK WORLD-JAPAN)

にほんごを べんきょしたいひと むけ For those who want to study Japanese

インターネットの日本語学習サイトを使ってみよう
Let's use a Japanese learning site on the Internet

横浜に住んでいる人優先
Priority is given to those who live in Yokohama

インターネットを使って、日本語を勉強したい人 向けの 講座です。
日本語を 勉強できる WEBサイトを紹介します。

無料 0円 Free

Easy Japanese

そのWEBサイトを使って、実際に勉強してみましょう。

Aコース、Bコースは 同じ 内容です。どちらか 選んで ください。

Aコース (午前 10:00~12:00)
日 時: 2020 年 12 月 2 日 (水)、9 日 (水)
人 数: 先着 10 人
対 象: 日本語で簡単な会話ができる人
ひらがな、カタカナが読める、書ける人

Bコース (夜 7:00~9:00)
日 時: 2020 年 12 月 2 日 (水)、9 日 (水)
人 数: 先着 10 人
対 象: 日本語で簡単な会話ができる人
ひらがな、カタカナが読める、書ける人

場 所: オンラインZoom
参加費: 無料
申 込: <https://ws.fomau.net/jdkt/523087318/>

場 所: オンラインZoom
参加費: 無料
申 込: <https://ws.fomau.net/jdkt/57154583/>

第 1 回「インターネットの日本語学習サイトを使ってみよう」

日本語学習サイトの「つなひろ」レベル1の「あいさつをしよう」を使って自己紹介をしながら、どのようにこの教材を使えばいいかを講師から説明がありました。本サイトは多言語対応をしているので、文字を学習者の母語に変えたり、またビデオの見方やスクリプトの表示の仕方など、学習者が自分で学習を進められるようになっています。

「つなひろ」レベル2の「スーパー、デパート、コンビニ」の活動では、実際の場面を想像して発話を考えたり、伝えたいことをどうやって表現すればいいかなど、すぐに役に立つ内容を学習しました。地域の日本語支援者がサポーターとして参加し、スクリプトの対話相手をしてくれたため学習者の発話量も増え、よりアクティブな学習ができたようです。



サポーター役のみなさま
ありがとうございました!

第2回「インターネットの日本語学習サイトを使ってみよう」

この回ではまず、自宅からの参加できるというオンラインのメリットを生かし、テーマに示された物を部屋の中から持ってきてみんなに見せるというアイスブレイクからスタートしました。

和やかなムードの中、前週の動画を見ながら内容を再確認し、シャドーイングなどで会話練習を行いました。

後半には NHK WORLD-JAPAN からインターネットの日本語学習サイト「Easy Japanese」の紹介があり、新しいサイト情報にもとても関心を示していました。

学習者の参加は少なかったものの、講師を始め、日本語支援のサポーター、コンテンツ制作者など多方面の協力で新しい講座を無事終了することができました。



出典:文化庁「つながるひろがるにほんごでの暮らし」
レベル2 シーン1 お店のサービスを利用してみよう



始めのアイスブレイク
「赤いものを見せて!」の様子



出典:NHK WORLD-JAPAN
Easy Japanese

学習者の声

- ・先生方がとても熱心に教えてくれた。
- ・とても楽しかった。また参加したい。
- ・今後もオンラインや地域の日本語教室などで勉強を続けたい。

サポーターの声

- ・学習者の学ぶ意欲が感じられ、有意義な講座だった。
- ・ハードルが高いと思っていたインターネットの学習サイトだが、サポーターとして参加して理解が深まった。自分の教室で試してみようと思った。

どこからでも参加できるオンラインによる教室や学習者の学習スタイルやペースに合わせられるインターネットの学習サイト利用は、今後も広がっていくことが予想されます。

参加して下さったみなさま、ありがとうございました。